

(2024年 鳥取県公立入試 類似)

- (2018年 福岡県公立入試 類似)

- (2026年 静岡県公立入試 類似)

- いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 3 三重県	三重県は中京工業地帯の一角を担っており、鈴鹿市を中心とした自動車産業（輸送用機械）が盛んです。しかし、製造品出荷額の約55%を輸送用機械が占める愛知県と比較すると、三重県は四日市市の石油化学コンビナートに付随した産業や、食料品、鉄鋼業などがバランスよく展開しているという特徴があります。
問2	答え 1 冬に北西から吹く季節風が、日本海で蓄えた水蒸気を滋賀県北部の山地にぶつかって雪として降らせるため。	滋賀県北部は日本海側気候の影響を強く受ける地域です。冬になると大陸から冷たく湿った北西の季節風が吹き込み、県境の山地で上昇気流が発生することで、多くの雪や雨をもたらします。このため、雨温図では12月や1月の降水量が突出して多くなるという特徴が現れます。
問3	答え 3 中京圏	三重県は地理的に近畿地方と中部地方の境界に位置しており、歴史的・行政的な枠組みでは近畿地方とされます。しかし、名古屋市を中心とする愛知県との交通網が非常に発達しているため、実際の経済活動や住民の生活圏としては、愛知県や岐阜県とともに「中京圏」の一翼を担っています。このため、統計上も京阪神方面（近畿圏）より愛知県への通勤・通学者が圧倒的に多くなっています。
問4	答え 4 三重県と滋賀県	日本の一般的な地方区分では、三重県と滋賀県はどちらも近畿地方に属しています。地理的な位置関係を見ると、三重県は中部地方の愛知県や岐阜県と隣接しており、滋賀県は中部地方の岐阜県と境界を接しています。このように地方の境界に位置する県は、隣接する他の地方とも密接な関係を持っています。
問5	答え 4 碁盤の目	平安京は中国の唐の都である長安をモデルに設計されました。東西に通る「条」と南北に通る「坊」を組み合わせる「条坊制」という都市計画に基づいて建設されたため、道路が直角に交わる格子状の街並みが形成されました。この整然とした区画が、囲碁で使う盤に似ていることから「碁盤の目」と呼ばれています。
問6	答え 1 熊野川の水運を利用して、上流の山地から運ばれた木材を加工する製材業が発展した。	新宮地域は、日本有数の多雨地帯である紀伊山地を背後に持っています。かつては道路網が未発達であったため、山で伐採された木材は熊野川の水流を利用した「筏流し」によって河口の新宮まで運ばれました。この地理的条件により、河口付近では古くから製材業が盛んになりました。
問7	答え 1 琵琶湖から流出する淀川の水系が、京都・大阪・神戸などの大都市における膨大な人口の生活や産業を支える水源となっているため。	琵琶湖は「近畿の水がめ」とも呼ばれ、そこから流れ出る淀川は、京都、大阪、神戸といった大都市が密集する京阪神大都市圏の飲料水や工業用水を供給する極めて重要な役割を担っています。地形的に見ても、琵琶湖から流れ出る河川がこれらの主要都市へと繋がっており、都市圏の成立と発展は、この豊かな水資源の供給体制によって支えられています。
問8	答え 1 和歌山県	和歌山県は、みかんや梅などの生産が全国トップクラスであり、農業産出額の半分以上を果実が占めているのが最大の特徴です。選択肢にある新潟県は「米」、愛知県は「野菜」や「花」、北海道は「畜産」や「畑作」の割合がそれぞれ高く、都道府県ごとの気候や地形条件によって生産される品目の構成が大きく異なります。
問9	答え 3 大阪府が近畿地方の経済や交通の結節点であり、周辺の広い範囲が通勤・通学圏（大阪圏）となっているため。	大阪府は、古くから「天下の台所」と呼ばれるなど商業が盛んであり、現在も近畿地方における経済・情報の中心地です。大阪市を中心に鉄道や道路網が放射状に整備されているため、京都府や兵庫県、奈良県といった近隣の県から比較的容易にアクセスでき、広大な都市圏（京阪神大都市圏）を形成しています。このため、周辺地域で生活し、大阪府内で働く・学ぶというスタイルが一般的になり、拠点性が高まりました。
問10	答え 1 1km	二万五千分の一地形図の縮尺では、地図上の1cmが実寸で25,000cm（250m）に相当します。したがって、地図上の4cmは、実際の距離では $4 \times 250\text{m} = 1,000\text{m}$ となり、kmに換算すると1kmとなります。五万分の一地形図（1cm = 500m）との混同に注意が必要です。
問11	答え 2 伝統的な建築物と調和した美しい景観を保全し、観光資源としての価値を高めるため	電線の地中化は、視覚的に邪魔な構造物を排除することで、古い町並みの雰囲気を最大限に引き出す目的で行われます。これにより、観光客にとって魅力的な景観が創出され、地域経済の活性化にもつながります。また、景観の向上だけでなく、電柱がなくなることによって歩行者の安全性が高まったり、地震などで電柱が倒壊するリスクを防いだりする防災上の利点も併せ持っています。
問12	答え 2 中京工業地帯の一部を担い、石油化学や輸送用機械などの工業が発達しているため	三重県は愛知県、岐阜県とともに日本最大の製造品出荷額を誇る中京工業地帯を構成しています。特に四日市市を中心とした石油化学工業や、県北部から中部にかけての自動車関連産業が製造品出荷額を大きく押し上げています。他の選択肢は、東京都（京浜）、岡山県や広島県（瀬戸内）、栃木県や群馬県（北関東）に関する説明であり、三重県の地理的・産業的特徴とは一致しません。
問13	答え 2 単位面積当たりの事業所（工場）の数が非常に多く、密集している。	阪神工業地帯に位置する東大阪市の最大の特徴は、中小工場の圧倒的な集積です。名古屋市や横浜市のような他の大都市と比較した場合、市の面積は小さいものの、事業所（工場）の密度が非常に高いというデータが得られます。これは、限られた土地に多数の中小工場がひしめき合っている「ものづくりのまち」としての性格を反映したものです。